

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GSグローバル・ビッグデータ投資戦略 Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）」は、このたび、第9期の決算を行いました。本ファンドは、日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用した独自開発の計量モデルを用いて多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

Aコース（為替ヘッジあり）

第9期末（2025年3月10日）		第9期	
基準価額	17,591円	騰落率	5.0%
純資産総額	18,840百万円	分配金合計	0円

Bコース（為替ヘッジなし）

第9期末（2025年3月10日）		第9期	
基準価額	26,280円	騰落率	9.4%
純資産総額	123,947百万円	分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付できる旨が定められております。運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

GS GLOBAL BIG DATA STRATEGY

交付運用報告書

GSグローバル・ ビッグデータ投資戦略

Aコース（為替ヘッジあり）
Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式

第9期（決算日2025年3月10日）

作成対象期間：2024年3月12日～2025年3月10日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

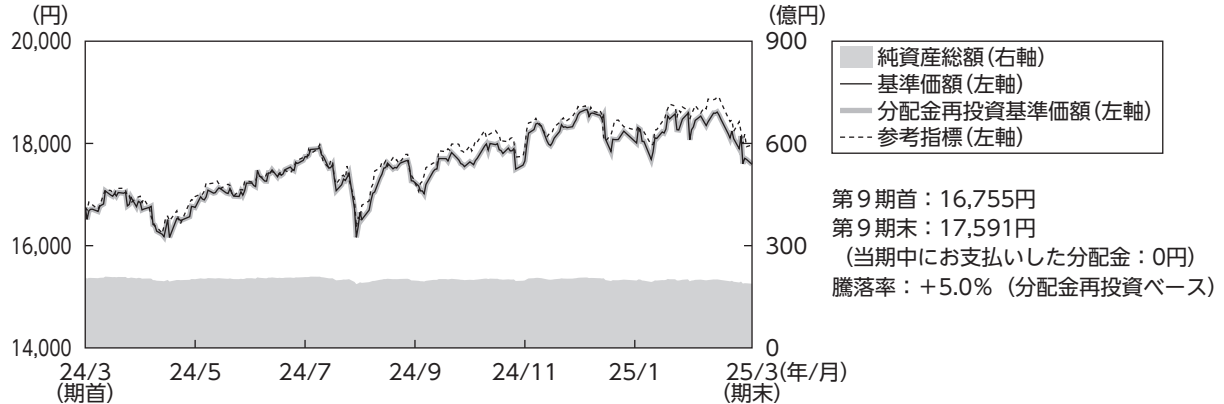
〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー
お問合せ先：03-4587-6000（代表）
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2024年3月12日～2025年3月10日）

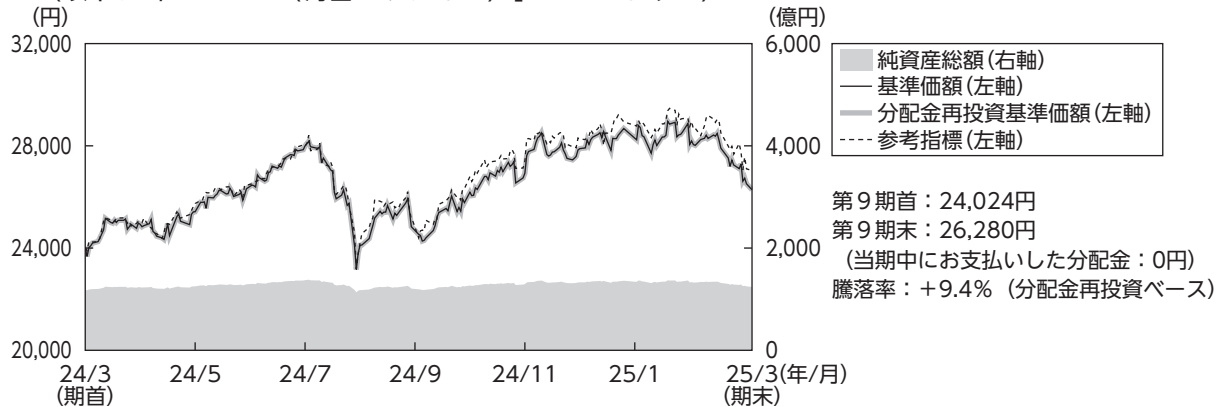
○ G S グローバル・ビッグデータ投資戦略 Aコース（為替ヘッジあり）

（以下、「Aコース（為替ヘッジあり）」といたします。）



○ G S グローバル・ビッグデータ投資戦略 Bコース（為替ヘッジなし）

（以下、「Bコース（為替ヘッジなし）」といたします。）



(注1) 参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCIワールド・インデックス（円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCIワールド・インデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の16,755円から836円上昇し、期末には17,591円となりました。
- Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の24,024円から2,256円上昇し、期末には26,280円となりました。
（以下、2ファンドを総称して「本ファンド」ということがあります。）

上昇要因

世界的な株式市場の上昇、国別配分においてドイツやスペインがプラス寄与になったことなどが、基準価額の上昇要因となりました。また、Bコース（為替ヘッジなし）においては、米ドルなどが円に対して上昇したことも基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

国別配分においてスウェーデンや日本がマイナス寄与になったこと、また銘柄選択における投資テーマがすべてマイナス寄与となったことなどが、基準価額の下落要因となりました。また、Aコース（為替ヘッジあり）においては、為替ヘッジコストが基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

○Aコース (為替ヘッジあり)

項目	当期		項目の概要
	2024年3月12日~2025年3月10日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	237円 (116)	1.344% (0.658)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(116)	(0.658)	
(受託会社)	(5)	(0.027)	
その他費用 (保管費用)	3 (1)	0.015 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	
(その他)	(1)	(0.004)	
合計	240	1.359	
期中の平均基準価額は17,636円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

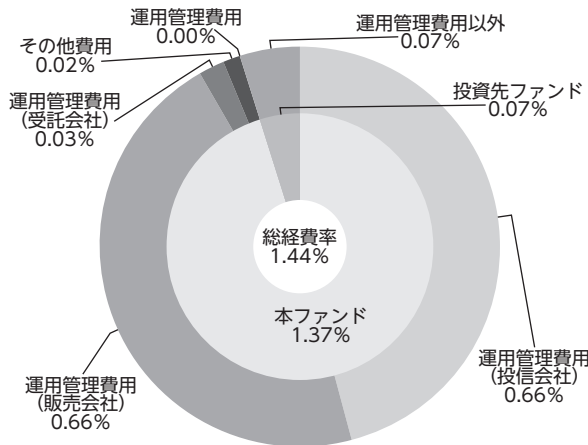
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.44%です。



総経費率 (①+②+③)	1.44%
①本ファンドの費用の比率	1.37%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	当期		項目の概要
	2024年3月12日~2025年3月10日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	358円 (176)	1.344% (0.658)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(176)	(0.658)	
(受託会社)	(7)	(0.027)	
その他費用 (保管費用)	2 (0)	0.006 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	
(その他)	(1)	(0.003)	
合計	360	1.350	
期中の平均基準価額は26,675円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

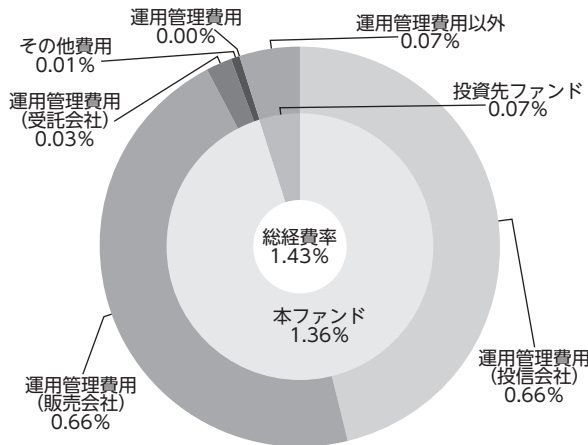
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.43%です。



総経費率 (①+②+③)	1.43%
①本ファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

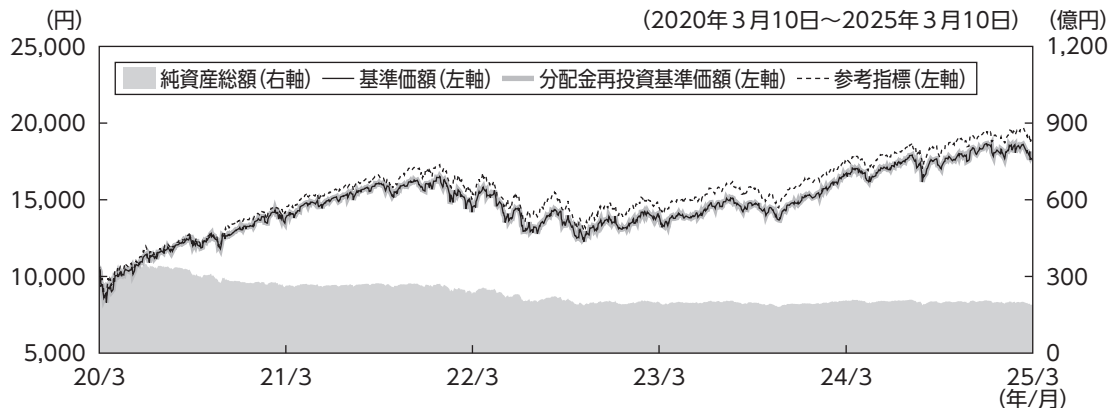
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

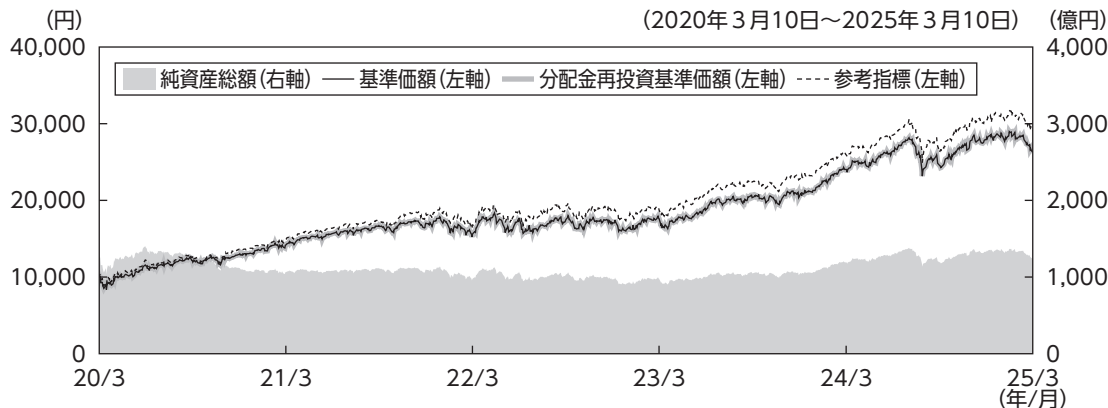
(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、2020年3月10日の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) 参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCIワールド・インデックス（円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCIワールド・インデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Aコース（為替ヘッジあり）

	2020/3/10 決算日	2021/3/10 決算日	2022/3/10 決算日	2023/3/10 決算日	2024/3/11 決算日	2025/3/10 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,354	13,847	14,470	13,944	16,755	17,591
期間分配金合計（税引前）（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	33.7%	4.5%	－3.6%	20.2%	5.0%
参考指標騰落率	－	38.6%	7.6%	－6.1%	20.4%	7.2%
純資産総額（百万円）	32,765	26,390	23,584	19,966	20,659	18,840

○Bコース（為替ヘッジなし）

	2020/3/10 決算日	2021/3/10 決算日	2022/3/10 決算日	2023/3/10 決算日	2024/3/11 決算日	2025/3/10 決算日
基準価額（分配落）（円）	9,998	14,193	15,569	17,618	24,024	26,280
期間分配金合計（税引前）（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	42.0%	9.7%	13.2%	36.4%	9.4%
参考指標騰落率	－	49.1%	12.6%	11.8%	37.7%	12.5%
純資産総額（百万円）	125,066	106,453	97,601	97,753	119,065	123,947

（注1）騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

（注3）参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCIワールド・インデックス（円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCIワールド・インデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

■ 投資環境について

<世界株式市場>

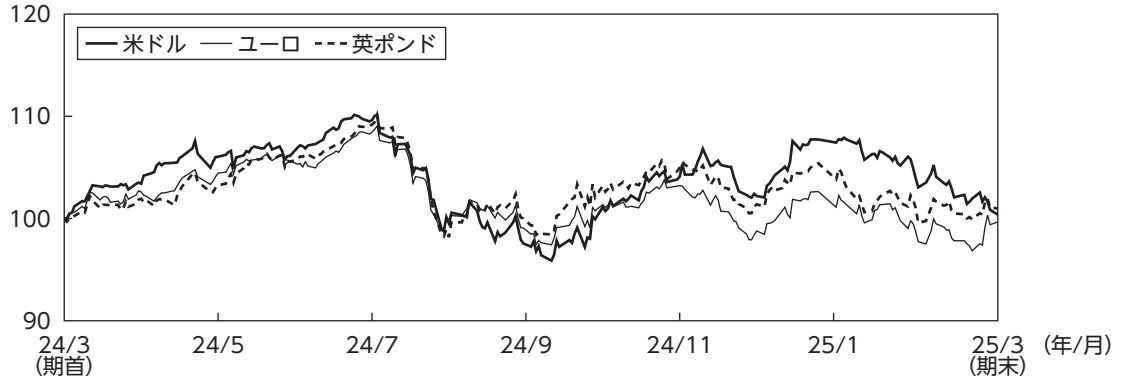
当期の世界株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。

2024年3月下旬は、FOMC（米連邦公開市場委員会）後に公表された経済見通しで2024年内に3回の利下げ予想が維持され米国経済のソフトランディングへの期待が高まるなか、世界株式市場は上昇しました。4月には米雇用統計やCPI（消費者物価指数）が市場予想を上回り景気過熱感から利下げ期待が後退するなか、世界株式市場は下落しました。5月に入り、エヌビディアなど主要半導体企業的好決算に牽引される形で、世界株式市場は持ち直しました。6月には、AI（人工知能）など成長テーマの後押しを受ける米国大型ハイテック株が上昇する一方、金利上昇の逆風を受ける小型株や欧州株は下落しました。7月に入るとこの流れは反転し、大型株が調整する一方、利下げ期待から小型株は上昇しました。8月は、米製造業景況指数や雇用統計の悪化から月初の3営業日で株価が急落したものの、その後はFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待が後押しし、世界株式市場は上昇基調に転じました。9月は、上旬に弱い経済指標が相次ぎ下落しましたが、中旬以降FRBが約4年半ぶりの利下げに踏み切ると、世界株式市場は上昇しました。10月は、月中に大型株のS&P500指数が最高値を更新しましたが、月末にかけて大統領選挙を控えたリスク回避の動きから、世界株式市場は軟調な推移となりました。11月は、米トランプ新政権による規制緩和や減税恒久化等の政策期待から、世界株式市場は上昇しました。12月は、初旬こそ堅調にスタートしましたが、FOMC後に公表された経済見通しで2025年の利下げ回数が4回から2回に半減されると長期金利の上昇に拍車がかかり、下旬にかけて世界株式市場は大きく下落しました。2025年1月は、上旬に長期金利の上昇から弱い展開となりましたが、中旬に入るとインフレ懸念の後退から世界株式市場は反発しました。2月は、米トランプ政権の関税政策を巡る懸念から世界株式市場は軟調な推移となりました。3月上旬も、米通商政策の不透明感と景気減速懸念から、期末に向けて調整が加速しました。

<外国為替市場>

米ドルおよび英ポンドは円に対して上昇した一方、ユーロは円に対して下落しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：一般社団法人投資信託協会

(注) 各通貨は期首を100として指数化しています。

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1 ヲ月は前期末の5.3%から4.3%まで低下して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、日本を含む先進国の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

<ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ>

日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。

当期においては、国別配分効果がプラス寄与となる一方、銘柄選択効果はマイナス寄与となりました。国別配分ではドイツやスペインのオーバーウェイトがプラス寄与となりました。また、当運用では、最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データなどをもとに、モメンタム（Momentum）・バリュー（Value）・収益性（Profitability）の投資テーマを通じた数百もの評価基準（MVPモデル）に基づき、投資対象候補銘柄すべての投資魅力度を総合的に評価した上で、ポートフォリオの最適化を図っていますが、当期は、「モメンタム」、「バリュー」および「収益性」すべてがマイナス寄与となりました。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

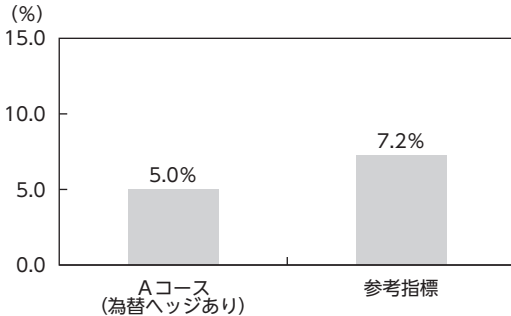
主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

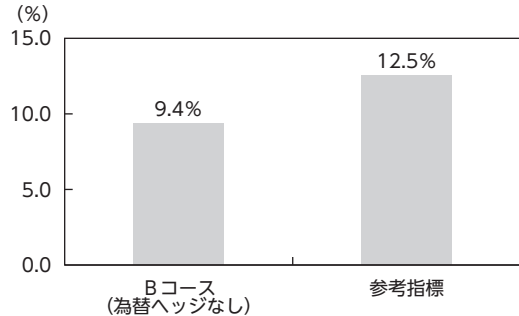
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>

○ Aコース（為替ヘッジあり）



○ Bコース（為替ヘッジなし）



(注1) 各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCIワールド・インデックス（円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCIワールド・インデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

当期のAコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+5.0%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+7.2%となりました。Bコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+9.4%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+12.5%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期は、Aコース（為替ヘッジあり）およびBコース（為替ヘッジなし）の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○Aコース（為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 9 期
	2024年3月12日～2025年3月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,590

○Bコース（為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 9 期
	2024年3月12日～2025年3月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	16,279

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き、ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオを高位に組入れ、日本を含む先進国の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざします。

<ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ>

日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

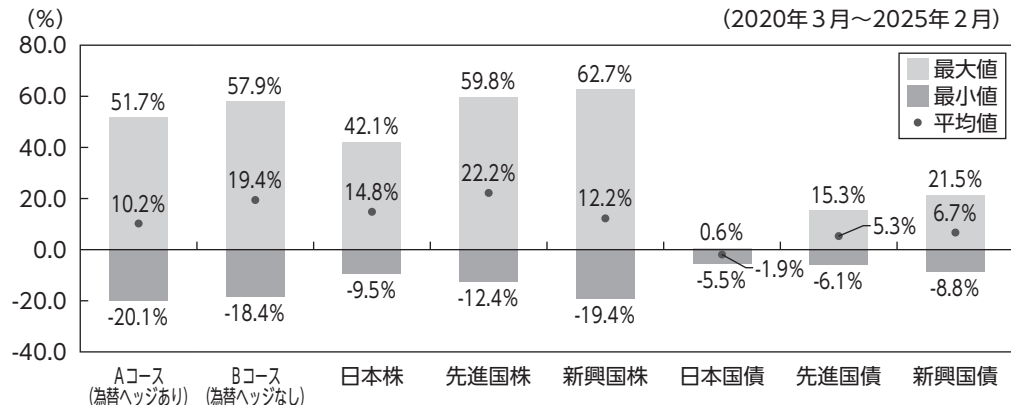
今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	原則として無期限
運用方針	主として日本を含む先進国の株式を主要投資対象とし、計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時にポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行う投資信託証券への投資を通じ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. <ul style="list-style-type: none"> ①ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー <ul style="list-style-type: none"> ②ゴールドマン・サックス US \$ リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	日本を含む先進国の株式および株式関連証券
指定投資信託証券②	米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、Aコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行い、Bコースでは、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月10日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2020年3月から2025年2月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容 (2025年3月10日現在)

< Aコース (為替ヘッジあり) >

○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

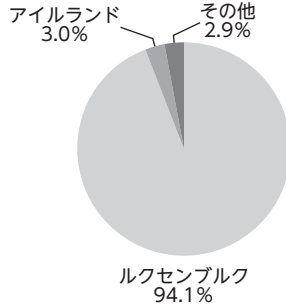
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ	94.1%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	3.0%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

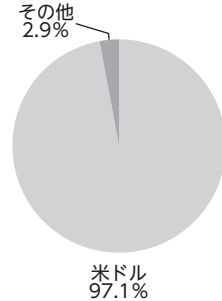
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全てAコース (為替ヘッジあり) の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

< Bコース (為替ヘッジなし) >

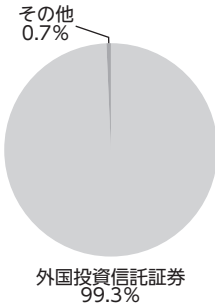
○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

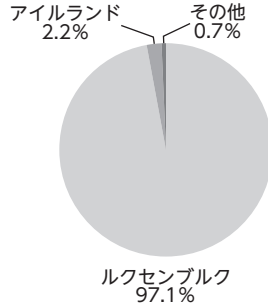
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ	97.1%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.2%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

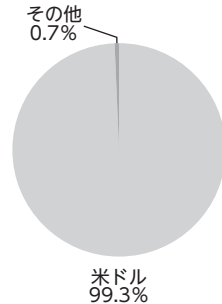
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全てBコース (為替ヘッジなし) の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

■ 純資産等

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第9期末
	2025年3月10日
純資産総額	18,840,032,985円
受益権総口数	10,710,282,784口
1万口当たり基準価額	17,591円

(注) 期首元本額は12,330,686,810円、当作成期間中において、追加設定元本額は313,641,181円、同解約元本額は1,934,045,207円です。

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第9期末
	2025年3月10日
純資産総額	123,947,341,228円
受益権総口数	47,164,147,318口
1万口当たり基準価額	26,280円

(注) 期首元本額は49,561,697,744円、当作成期間中において、追加設定元本額は3,775,158,366円、同解約元本額は6,172,708,792円です。

組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ> (2023年11月30日現在)

○純資産価格の推移について (2022年12月1日~2023年11月30日)



* I Oアキュムレーション・スナッフ・シェアクラスの純資産価格

○費用明細 (2023年11月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	金額
当座借越支払利息	5,107
有価証券貸付にかかる手数料	32,776
投資顧問報酬	14,087,685
保管費用	398,346
管理事務代行報酬	488,306
販売報酬およびサービシング報酬	1,097,424
名義書換事務代行報酬	182,705
年次税	548,903
専門家報酬	77,322
その他運用費用	925,714
費用合計	17,844,288

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

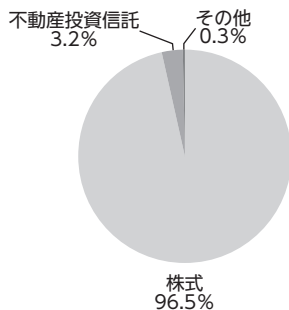
順位	銘柄	国	比率
1	Microsoft Corp.	米国	4.9%
2	Apple, Inc.	米国	4.4%
3	Amazon.com, Inc.	米国	3.3%
4	NVIDIA Corp.	米国	2.0%
5	Alphabet, Inc. Class C	米国	1.9%
6	Berkshire Hathaway, Inc. Class B	米国	1.9%

(組入銘柄数: 338銘柄)

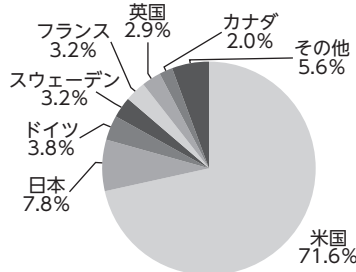
順位	銘柄	国	比率
7	Visa, Inc. Class A	米国	1.7%
8	Alphabet, Inc. Class A	米国	1.6%
9	Adobe, Inc.	米国	1.6%
10	Meta Platforms, Inc. Class A	米国	1.5%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

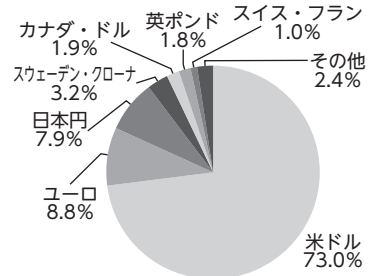
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

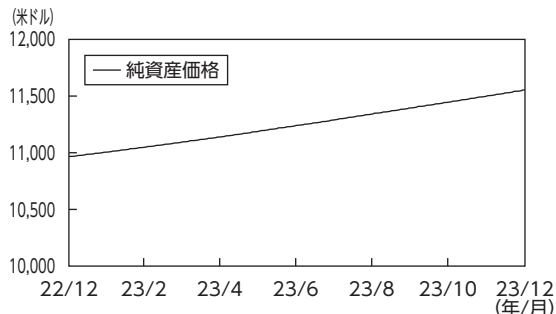
(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<ゴールドマン・サックスUS \$ リキッド・リザーブズ・ファンド> (2023年12月31日現在)

○純資産価格の推移について (2023年1月1日~2023年12月31日)



* X アクкумуляション・クラスの純資産価格

○費用明細 (2023年12月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	金額
投資顧問報酬	79,458,622
管理事務代行報酬	1,331,844
保管費用	1,795,618
販売報酬	2,811,628
名義書換事務代行報酬	894,982
専門家報酬	57,139
その他費用	4,936,236
費用合計	91,286,069
投資顧問報酬調整額	(8,856,966)
運用費用合計	82,429,103

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

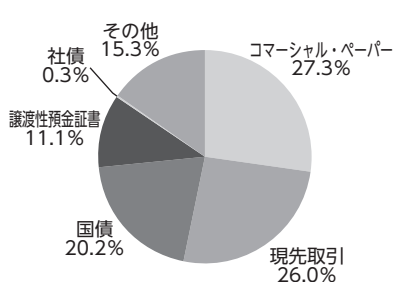
(組入銘柄数: 205銘柄)

順位	銘柄	種別	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo	現先取引	9.2%
2	MUFG Securities (Canada) Ltd Repo	現先取引	5.8%
3	Wells Fargo Securities LLC Repo	現先取引	3.2%
4	United States Treasury Bill	国債	2.7%
5	BofA Securities Repo	現先取引	2.6%
6	United States Treasury Bill	国債	2.1%

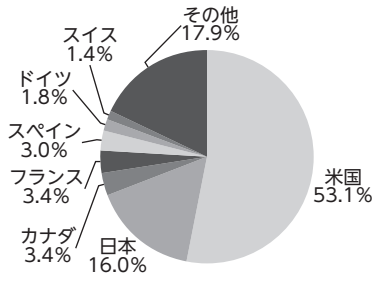
順位	銘柄	種別	比率
7	Nomura Securities Repo	現先取引	2.0%
8	United States Treasury Bill	国債	1.8%
9	Federal Home Loan Banks	国債	1.7%
10	Citigroup Global Markets Inc Repo	現先取引	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

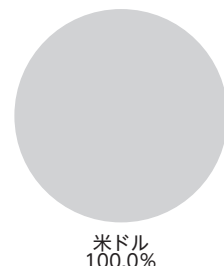
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。